

第二十九圖版

第二十九圖版圖解

第一圖 島原火山外輪山鎔岩ノ代表的ノモノニシテ圖ハ野岳産ノモノニ依ル、本鎔岩ハ含紫蘇輝石角閃アンデン岩ニシテ「ピロタキシチック」ノ石地中ニ斑晶トシテ斜長石(P)角閃石(H)ヲ含ミ副成分鑛物トシテハ比較的屢ニ紫蘇輝石(Hy)産ス、此外少量ノ黑雲母(B)及單斜輝石(A)モアリ、他ノ副成分鑛物トシテハ石英磁鐵粒燐灰石アリ、本圖ハ該鎔岩ノ特性トモ見ル可キ角閃石(H)ノ變化狀態ヲ示セルモノニシテ、角閃石ハ原晶形ノマ、ノ輪廓ニテ其一部ハ新鮮ナルマ、ニテ、他ノ一部ハ單斜輝石及ビ紫蘇輝石ニ變化セリ。

第二圖 島原火山中央火口丘ノ一タル九千部岳鎔岩ニシテ含輝石角閃アンデン岩ナリ、「ピロタキシチック」ノ石地中ニハ斜長石(P)角閃石(H)ノ外輝石ヲ含有ス、紫蘇輝石ハ少量ナリ。

第三圖 眉山ヲ構成スル含兩輝石角閃アンデン岩ナリ、「ハイアロピリチック」ノ石地中ニハ斜長石(P)角閃石(H)ノ外殆ド等量ノ單斜輝石(A)及ビ紫蘇輝石(Hy)ヲ含ミ、又多少ノ黑雲母ヲ有ス。副成分鑛物トシテハ磁鐵粒及ビ燐灰石ヲ産ス。

第四圖 前記眉山鎔岩中ニ於ケル紫蘇輝石(Hy)ノヨク發達セルモノヲ示ス、此紫蘇輝石ハ斜長石(P)ヲ含ミ、又磁鐵鏡(M)及ビ燐灰石(Ap)ヲ附隨セシム。

第五圖 猿葉山鎔岩ニシテ含兩輝石角閃アンデン岩ナリ、石地ハ島原火山外輪山鎔岩ニ類シテ「ピロタキシチック」ナリ、斑晶トシテ斜長石(P)角閃石(H)ノ外等量ノ兩輝石ヲ含メドモ其量大ナラズ、單斜輝石(A)ハ粒狀ノモノ多ク又砂時計構造ヲナセルモノアリ、紫蘇輝石ハ時ニ分解シテ酸化鐵様ノモノヲ生ズル事アリ。

第六圖 溫泉火山普賢岳中央火口丘ヲ構成スル鎔岩(第一及第二式)中第二式即チ新ラシキ方ニ屬スルモノニシテ、地質時代中最後ノモノナリ、岩種ハ閃雲アンデン岩ニ屬シ、石地ハ「ピロタキシチック」ナリ、斑晶ハ斜長石(P)ノ外角閃石(H)黑雲母(B)アリ、黑雲母ハ量ニ於テ角閃石ニ劣ル、此外多少ノ輝石類アレド發育鈍シ、副成分鑛物トシテハ磁鐵粒、石英及ビ粒狀ノ橄欖石アレド磁鐵粒ヲ除イテハ極メテ少量ナリ。

第七圖 明曆三年ノ噴出ニヨル古燒鎔岩ニシテ、含橄欖石角閃アンデン岩ナリ、石地ハ「ハイアロピリチック」ニシテ斑晶ハ斜長石(P)角閃石(H)アリ、輝石類ノ産出ハ著シカラズ、黑雲母ハ極メテ稀ニ産スルノミ、副成分鑛物トシテハ磁鐵粒ノ外橄欖石(O)アリ、恰モ晶骸ノ如キ狀態ヲナスハ其特徵ナリ斜長石ガ玻璃ヲ含有スル事ニヨリテノ帶構造ハ本圖ニヨリテヨク窺ハル。

第八圖 寛政四年ノ鎔岩タル新燒鎔岩ニシテ單純ナル閃雲アンデン岩ニ屬ス、「ハイアロピリチック」ノ石地中ニハ針狀ノ紫蘇輝石散布セラル、斑晶トシテハ斜長石(P)角閃石(H)及ビ黑雲母(B)アリ、副成分鑛物ハ磁鐵粒ノミ。

圖二第

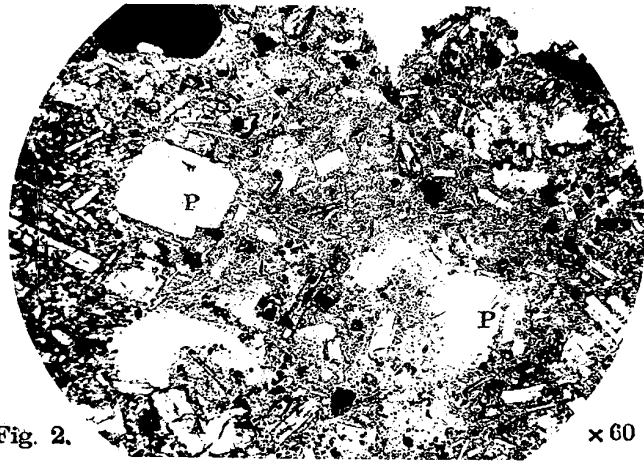


Fig. 2. x60

圖一第

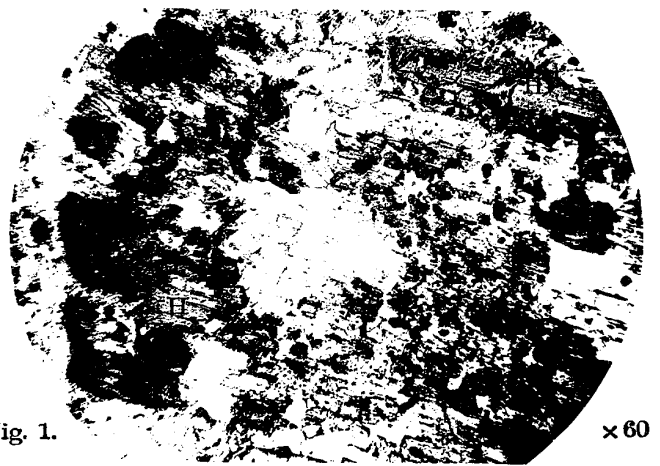


Fig. 1. x60

圖四第

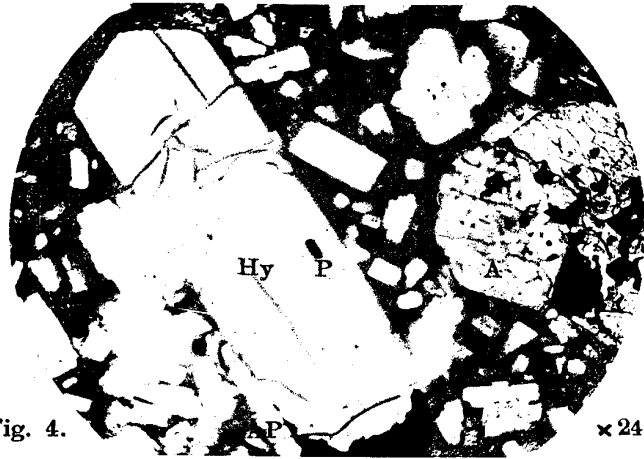


Fig. 4. x24

圖三第

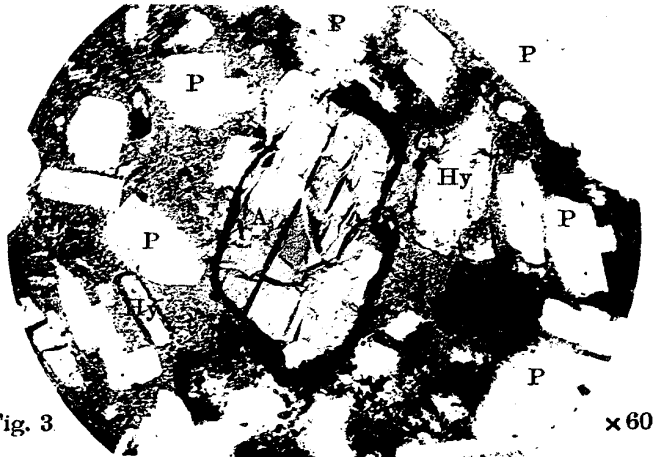


Fig. 3. x60

圖六第

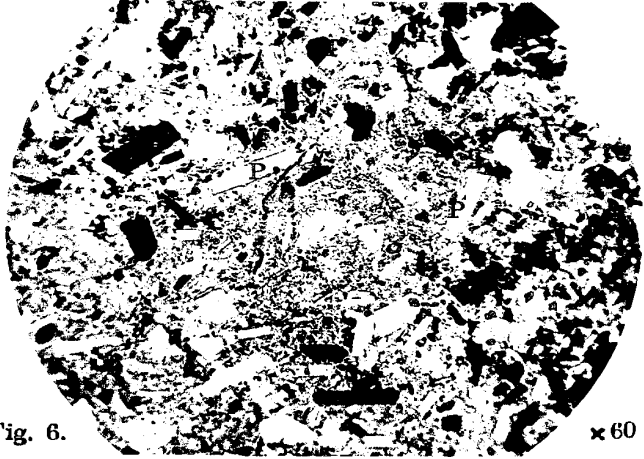


Fig. 6. x60

圖五第

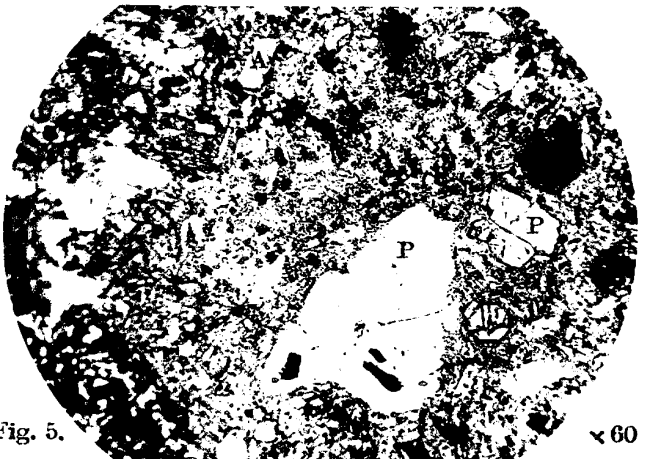


Fig. 5. x60

圖八第

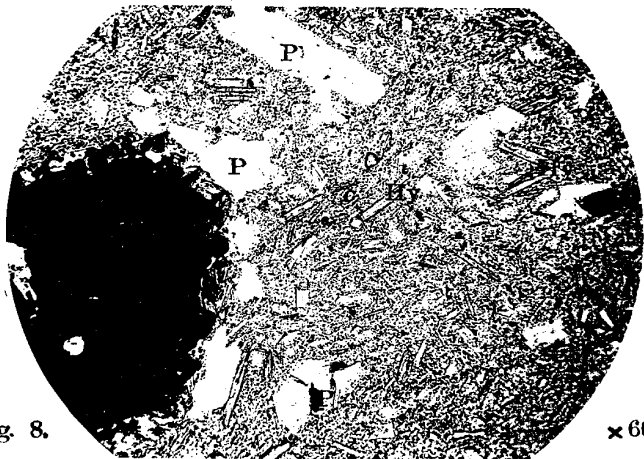


Fig. 8. x60

圖七第



Fig. 7. x60